



# 例会報告 Rotary



- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988  
大垣共立銀行高山支店 4F
- 会長 垣内 秀文
- 幹事 大村 貴之
- 会報委員長 中島 一成

## イマジン ロータリー

出席・プログラム委員会

### <会長の時間>

早いもので今年最後の例会となります。先週はクリスマス忘年例会に寒い中、行動制限が無いとはいえ、多数の方に出席頂きましてありがとうございました。オフィシャルで久しぶりの懇親会ということで少し羽目を外した感はありますが、皆さんと楽しいひと時を過ごせた



ことに感謝申し上げます。また堀親睦委員長をはじめ向井さん、杉山さんには早くから準備の為に来て頂き重ねて感謝申し上げます。

実際は明日がクリスマスイブで皆さんのお宅でも例年通りの家族団らんで楽しいひと時を計画している事と思いますが、こんな時も厳冬の中、ロシアとウクライナの争いが収束する事も無く続いています。今日はクリスマス休戦という美談が新聞のコラムに載っていましたので、少しお話ししたいと思います。クリスマス休戦とは第一次世界大戦緒戦の1914年12月25日にイギリス・フランスなど連合国対ドイツの戦いで、ベルギー南部からフランス北部にかけての戦線で起こった一時的な停戦状態のことを言います。2005年の「戦場のアリア」というフランス映画はこの戦争で起きた奇跡のような実話を基にして制作されました。邦題はバツハの「G線上のアリア」を振ったものだと思いますが、フランス語で「メリークリスマス」はJoyeux Noël (ジョワイユ ノエル) これがフランスのタイトルです。

その内容を少しだけお話ししますと...第一次世界大戦が始まって最初のクリスマスに戦うイギリス・フランス軍とドイツ軍に、神は素晴らしいプレゼントを用意しました。厳冬の戦線で鉄条網を挟んでイギリス・フランス軍とドイツ軍が対峙して距離にして僅か100mこの塹壕戦は砲撃の応酬で悲惨なものでした。その時、第一次世界大戦が始まって初めてのクリスマスにドイツ軍の塹壕から「きよこの夜」の調が流れてきました、その歌声の主、オペラ歌手のアナは慰問のためにドイツ軍塹壕を訪れていました。その歌声は、聞き覚えのある「きよこの夜」だと気付いたフランス軍将校がドイツ軍塹壕に向かって大きな拍手を送りました。その拍手を聞いた時、憎むべき敵でありながら、自分の歌声に拍手を送ってくれた人がいることに感動します。その瞬間、戦場は戦場でなくなっていました。この様子を見ていた両軍の兵士たちは、恐る恐る塹壕から出てきて、自発的に敵兵との交流を始めてしまったからです。その響きは、荒んだ戦場全体を包み込み、徐々に兵士たちの声の一つになり、ぬかるんだ塹壕に、「クリスマスおめでとう」の声が響き渡り、こうしてクリスマス休戦が始まりました。

実話でも敵同士が分け隔てなく、クリスマスを祝福し、やがて手を握り合い、戦死者を埋葬し、チョコレートや菓子、酒・タバコなどの配給品を交換しました、又サッカーの試合も行われたそうです。しかし新年を迎える前に停戦は終わり、戦闘が再開しました。その後、第一次世界大戦中に3回クリスマスを迎えましたが、休戦はこの1回限りでした。クリスマス休戦の後、第一次世界大戦は更に3年も続き、2千万にのぼる人命を奪いました。

本当は戦いたくないという本心と、祖国のために戦わなければならない愛国心との葛藤の狭間で起きた、クリスマスの奇跡とも言

べき出来事です。この美談は、戦争さえないと生まれ来てなかったものなのですが、プーチン大統領もクリスマス休戦などは絶対にあり得ないと明言されていますが、もしプーチン大統領が...そしてもしゼレンスキー大統領がそれを受け入れたら、きっかけで休戦そして停戦、更に終戦となり、新しい年を世界中の人々が笑顔で迎えられることを祈念しまして、今年最後の会長の時間に代えさせていただきます。

### <幹事報告>

#### ◎RI理事より

- ・メルボルン国際大会日本人親善朝食会開催ご案内、お願い  
日時 2023年5月28日(日) 7:30~9:00  
会場 ZINC AT FEDERATION SQUARE  
会費 9,000円 先着500名受付 クラブ単位申込のみ  
※ジェニファー会長挨拶予定有

#### ◎ガバナー事務所より

- ・年末年始休暇のお知らせ 12月26日(月)~1月5日(木)  
緊急連絡先 地区代表幹事 山岡 利安

#### ◎ガバナーエレクト事務所より

- ・年末年始休暇のお知らせ 12月28日(水)~1月5日(木)  
緊急連絡先 次期地区代表幹事 山本 和彦

#### ◎高山市スポーツ少年団より

- ・令和4年度高山市スポーツ少年団大会 臨席御礼

### <例会変更>

- 高山 … 1月5日(木)は、新年例会のため  
9日(月・祝)18:30~ 洲さきに変更  
1月12日(木)は、定款により 休会  
1月26日(木)は、定款により 休会
- 高山中央 … 1月2日(月)は、法定休日のため 休会  
1月9日(月)は、法定休日のため 休会  
1月16日(月)は、新年家族例会りため  
14日(土)18:30~ひだホテルプラザに変更

### <受贈誌>

可児RC(濃飛グループIM報告書)、米山記念奨学会(ハイライトよねやま vol273)、(一財)比国育英会バギオ基金(2021年度事業報告書)、(特非)岐阜いのちの電話協会(広報誌第48号)

### <出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
28名	-	28名	36名	77.78%

# 例会報告

## <本日のプログラム> 出席・プログラム委員会

委員長 堺 和信

本日の担当例会は、私の会員スピーチとさせていただきます。何を話そうかと考えましたが、私が理事長をしています協同組合高山卸商業センターが、創立50周年を迎えたということで、高山卸センターができるまでの経緯と、私が理事長に就任してからの苦労話をしたいと思います。



場所は問屋町にあり、約63,000㎡の土地に卸商業団地と高山市地方卸売市場があり、2/3の42,500㎡が卸商業団地です。

高山市公設卸売市場について少しお話をしますと、昭和50年3月に「飛騨地域の台所」として業務を開始し、令和3年4月現在で卸売業社が2社（高山水産青果㈱、㈱ひだ青果市場）と買受人組合160人、青果出荷組合員（生産者）232人が利用しています。しかし、年々市場取扱量・取扱高は減少し平成5年がピークで取扱量28,070tが令和2年では9,708tと1/3に、取扱高は11,749百万円が4,822百万円の2/5まで落ち込んでいます。このような状況の中でも、10年前に施設の老朽化と耐震性が劣っていることが問題視され、令和7年度までに建替えが決まっています。

卸商業団地ができるまでの経緯をお話させていただきます。昭和40年代初期、市街地に点在していた卸売業が、車社会の発展と共に郊外への移転を余儀なくされ、昭和44年に岐阜県商工労働部経営指導課が実施した「高山市商業診断」において、飛騨地域の卸売業を中心とした総合流通センター建設の必要性を勧告されました。

また、同時期に岐阜県農政部においても、岐阜県卸売市場整備計画を発表し、高山市は「第2次総合計画書」の中で、店舗等集団化事業による「卸売業団地」と岐阜県卸売市場整備計画に基づく「高山市公設地方卸売市場」を併設した、相互補完と集積機能を兼ね備えた高山流通センター建設構想を打ち出しました。

昭和46年5月以降、行政当局の指導の下に諸準備作業が進められ、高山流通センター建設の機運が高まる中、高山市内の卸売業社35社が中心となって高度化事業による卸商業団地の建設計画が推進しました。8月には「高山卸商業団地推進協議会」が発足し、昭和47年4月に「協同組合高山卸商業センター」創立事務所が設けられ、6月に総会を開催し、9月22日に設立登記しました。

建設用地としては、現在の問屋町ですが当時は冬頭町と下岡本町でした。面積は約63,000㎡で土地所有者は47名に達し、用地取得は難航を極め市関係職員の構成によるプロジェクトチームが編成され、地主との折衝は2年半に及んだそうです。

昭和47年12月に、高山市開発公社によって造成工事が始まり昭和48年3月に造成工事が完了しました。高山卸商業センターの建設は、昭和48年に高山市土地開発公社より用地を取得し、48年

から49年に中小機構より高度化資金の融資を受け、敷地南側42,458㎡に連棟式店舗・倉庫を建設し昭和50年3月に第1次建設計画による高山卸商業団地が完成しました。北側20,750㎡については、高山地方卸売市場が完成しました。続いて、第2次建設事業として、高山土地開発公社より6,207㎡を取得し昭和53年9月に完成しました。そして、昭和55年12月に念願の組合会館が完成し、名実ともに飛騨地域における卸業務の中核機能を完備した「協同組合高山卸商業センター」が誕生しました。

しかし、時代の流れと共に事業環境は大きく変化し、高速道路の整備やチェーンストア等の興隆により中小卸売業の役割は大きく変化し続け、中間流通機能の高度化が求められるようになりました。その変化に対応しきれずに困難な状況となった卸売業者は淘汰され始め、平成3年をピークに事業所数、販売額は減少傾向を続けています。当組合も例外ではなくピーク時には37社いた組合員は現在21社までに減少しています。

組合としての共同事業は、共同施設利用（駐車場・組合会館）、共同購入購買事業（切手・印紙）、金融事業（組合員への転貸融資）、福利厚生事業（研修旅行）を行って、別組織法人として（有）高山中央商社（損保保険代理店）と労働保険事務組合があります。当時、事務局長と事務局員で4人務めていたので、収支は合わず組合員から賦課金を1,500万円程集めていました。これらの事業の中で、私が10年かけて苦労して廃止した事業が金融事業です。

金融事業は、組合が金融機関からお金を借りて利息を僅かに上乗せして、団地内に所有する土地建物と出資金を抵当権設定して組合員へ転貸融資するわけですが、ピーク時の融資総額は12億円を超えていました。業績が上向き状態の時はいかっていたのですが、先ほどもお話させていただいたように多くの組合員の売り上げは減少傾向となり、平成17年に1社倒産し組合は多額の負債を抱えてしまいました。この年の5月の総会で、私は早急に金融事業の廃止を求めました。その結果、10月に臨時総会を開催し平成25年を目標に廃止が決定し、補償基金の設立や融資限度枠の縮小はされましたが大きな改善はされませんでした。そればかりか20年に1社倒産し更なるおおきな負債を抱えてしまいました。その後、私も平成21年に理事となり金融事業の経過を見続けましたが進展はなく、ついに私は頭に来まして、その年の理事会で「賦課金も払っているのに、どうしてほかの組合員の借金まで払っていかねばいけないのか。私はこの組合を抜きたい」と本音を言ってしまいました。この発言により、翌年の総会で理事による選挙で、理事3年目の最年少で理事長になってしまいました。

理事長になったの最初定例会で、私は所信表明で4つのことを述べました。一つ目は組合の借入金の早期返済し財務の健全化を図る、二つ目には金融事業の早期廃止、三つ目は10年後の将来を見据えての再開設計画、四つ目は定例会の改革（すべての情報開示する）です。

理事長に就任して3ヶ月後、また1社倒産し更に負債が増えました。

# 例会報告

金融事業は、借換え時期が季節融資ということで6月と11月に行われました。私はその手続きが全き知らなかったのが、様子を見ているととんでもないことが分かりました。私は腹をくくり、各金融機関に組合への貸付保証人を私1人でお願いし、当座貸越の枠を広げてもらい借入れをすることにしました、そして、組合員への貸付時期も11月の1回にしました。

平成24年2月の理事会で、11月短期貸付決済日をもって金融事業の廃止を決議し、3月に関係組合員に説明会を開催し、5月の総会で決議を行いました。7月に臨時総会を開催し、組合からの借入金が無い組合員への、不動産売買予約契約書の解約と抵当権の抹消を決議しました。

その後、関係組合員からの返済話はなく、社長が経理担当者と面談をして、返済計画を相談し、3年の長期貸付と1年の短期貸付の契約書と公正証書を作成することとしました。

そんな最中に、貸付金額が一番多い組合員の大手企業との吸収合併が決まり、全額返済していただきました。(金融機関は債権放棄)

その他、組合員同士の不動産売買による返済や、少しずつではありますが毎月の元金返済により転貸融資の金額も減少し、空き店舗の売却・賃貸業務に力を入れ収益を付すことにより組合の借入金も年々減少していきました。また、不採算事業の労働保険事務組合も解散し、事務局員も減り経費は大きく減少し、利益の底上げとなりました。組合員から徴収していた賦課金も、1/5まで減額し、組合員の負担も減らし、順調な財務運営の最中、平成29年8月に組合員の不渡り手形の情報が入り、緊急理事会を開催し、その組合員への貸付金と不動産を相殺することを決議し、即座に連絡を取り実行しました。その組合員は、半年後に倒産しました。倒産したとの手続きより手間はありませんでした。また大きな負債額を負ってしまいました。

平成31年3月31日、組合員から突然「民事再生手付き開始の申し立て」のFAXが流れてきました。その4日前にその会社の総会があり、すぐに決算書を見たとき、大きな経常損失だったため危ないと話していた矢先でした。最後の大きな負債となりました。

令和2年コロナ禍に入り、中小企業の救済対策としてコロナ融資がでたため、残りの関係組合員にはその制度融資への切替をお願いし、平成4年11月にすべての転貸融資がなくなりました。

## <ニコニコボックス>

### ●垣内 秀文さん、大村 貴之さん

先日のクリスマス例会は、ご参加の皆さんと楽しい時間を過ごすことが出来ました。親睦委員長の堀サントさん、向井さんには大変お世話になりありがとうございました。本日は今年最後の例会です。出席・プログラム委員長 堺さん、よろしくお願いします。

### ●田邊 淳さん

先日は急にクリスマス例会欠席して申し訳ございませんでした。休んだのにビンゴ景品を頂きました。ありがとうございます。皆様良いクリスマスを！メリーXmas！！

### ●水梨 弘基さん

妻の誕生日そして結婚記念日に素敵な花とプレゼントをありがとうございました。

### ●米澤 久二さん

寒くなりました。いよいよ楽しい雪よけが始まります。楽しみです。

### ●斎藤 章さん

12月21日(一昨日)に妻の手術(股関節人工骨頭置換術)が無事終わり、順調に経過しております。感謝を込めて。

### ●塚本 直人さん

皆様1年間お世話になりました。世界中で色々な事件やイベントが沢山ある年でした。無事に結ばす様に。クリスマス寒波がやって来るそうです。用心しましょう。そして良いお年を！

### ●田近 毅さん、平 義孝さん、田中 武さん、門前 庄次郎さん

向井 公規さん、下屋 勝比古さん、杉山 和宏さん、堀 幸一郎さん  
12月23日金曜日、クリスマス寒波がやって来ました。白川郷も雪一色でしたが、去年と違うのは外国人も一緒にやって来た事です。このままインバウンドが増える事を願うばかりです。きっとサンタクロースが景気回復というプレゼントを届けてくれるでしょう。